

# レオプラス<sup>®</sup>8000DS

国土交通省「NETIS」登録商品 No. KT-110021-A

RHEOPLUS<sup>®</sup>8000DS

## 収縮低減型高性能減水剤

近年、コンクリート構造物の耐久性や美観への関心が高まり、乾燥収縮などによって生じるコンクリートのひび割れ対策が重要になっています。

レオプラス8000DSは収縮低減型のコンクリート製品用高性能減水剤で、従来の高性能減水剤が有する高い減水性能に加えて、優れた収縮低減性能を有し、コンクリートの乾燥収縮ひび割れを5～20%程度低減することができる新しいタイプのコンクリート用化学混和剤です。

### 特長

1. 収縮低減性能を有する高機能型の高性能減水剤です。
2. 高い減水性能とともに、施工性に優れた高品質なフレッシュコンクリートが製造できます。
3. 従来の高性能減水剤と同様の使用方法で、硬化コンクリートの乾燥収縮ひび割れを5～20%程度低減することが可能です。

### 主成分および物性

主成分	外観	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
ポリカルボン酸エーテル系化合物と ポリグリコール誘導体の複合体	赤褐色液体	1.05~1.13	0.6	0.01

\*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

### 使用量と使用方法

1. レオプラス8000DSの標準的な使用量は、セメント質量に対して1.3%ですが、収縮低減効果が十分に得られるようセメント質量に対して1.1%～1.5%の範囲でご使用ください。
2. レオプラス8000DSの使用量は、使用材料や練混ぜ条件、コンクリート温度などによって変化しますので、目標のスランプとなるように試し練りを行って配合を決定してください。
3. レオプラス8000DSには、スランプの経時保持性が異なる「S・M・L・LL」の各種タイプがあり、S<M<L<LLのタイプ順に保持時間は長くなりますので、コンクリート温度や作業時間等の使用条件に合わせて最適なタイプをお選びください。
4. レオプラス8000DSは、単位水量の一部として補正してご使用ください。

### 空気量の調整方法

レオプラス8000DSは基本的に空気を連行しませんが、AEコンクリートとする場合は、当社の空気量調整剤マイクロエア202またはマイクロエア775を別途に計量添加して、空気量の調整を行ってください。また、使用材料、配合条件、コンクリート温度などの影響によって過大な空気が連行される場合には、低空気連行タイプもありますので、当社セールスマンにご相談ください。

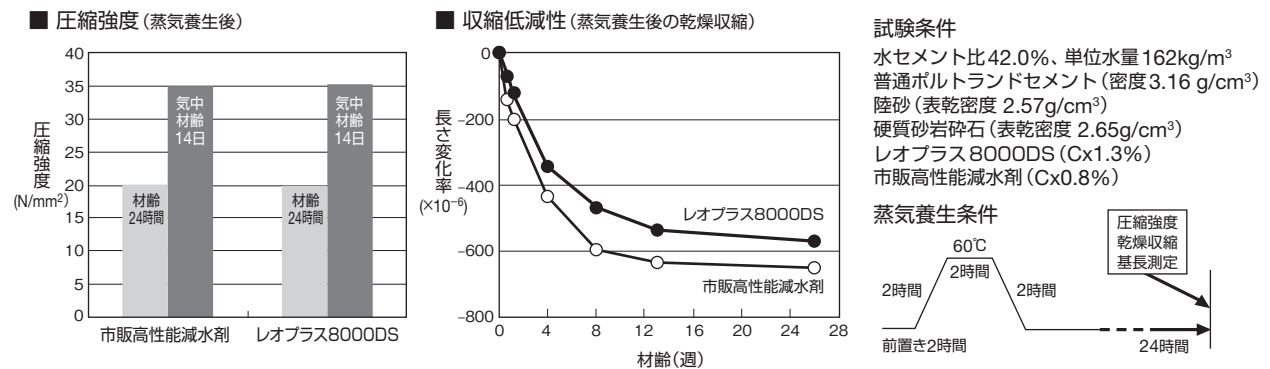
## 性能

### JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による性能評価例

試験項目	高性能減水剤 規定値	試験値	評価
減水率 (%)	12以上	12	適合
凝結時間の差 (分)	始発	-15	適合
	終結	-30	適合
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	115以上	適合
	材齢28日	116	適合
長さ変化比 (%)	110以下	82	適合

注) 財団法人 建材試験センターによる形式評価試験結果、レオプラス8000DSの使用量:セメント質量に対して1.4%

### 試験結果例 (市販高性能減水剤との比較)



### 使用および取扱上の注意事項

1. 本剤を推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ性状を確認するか、当社セールスマンにご相談ください。
2. 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように (凍結温度: -1.0℃) 保管してください。
3. 凍結した場合は、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
4. 取り扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
5. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
7. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、専門医の診察を受けてください。
8. 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
9. 使用及び取扱いの前に、当社の製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

### 荷姿

21kg ポリ内装箱、210kg ドラム缶、バルク



The Chemical Company

※本商品についてのお問い合わせは、最寄りの事業所および技術センターまでご連絡ください。

## BASF ポゾリス株式会社

本 社 〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 (代) TEL 03-3796-9710 FAX 03-3796-9980  
六本木ヒルズ森タワー 21階

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634	札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960	宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263
千葉営業所 TEL 043-203-1770 FAX 043-203-1772	神奈川営業所 TEL 0467-84-4166 FAX 0467-84-4299
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713	上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852
静岡営業所 TEL 054-647-3738 FAX 054-647-3739	(松本 高岡事務所)
大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244	高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273	広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741	

技術センター 技術的なお問い合わせ 混和剤製品 TEL 0467-87-8205 建材製品 TEL 0467-87-8207

[www.pozzolith.basf.co.jp](http://www.pozzolith.basf.co.jp)

- ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名・マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。
- ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいようお願い致します。
- 本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。
- BASF ポゾリス(株)は、生産統括部及び開発・技術センターにて、ISO9001及びISO14001を審査登録しています。

